

覗き

それも母親のだ

自分は小さい頃から
やめられないことがある

カサ

チャッ...



止められなかつた
オレは欲情して

そして湧く
衝動をなんとか
抑えようと発散する



母は実の息子に
使われているとも
知らずに

濡れて浮かぶ線を
晒す姿に



だけどそれも
いつ決壊するか

つはーッッ!
はぁッ...

自分ですら
分からない

母...さん

...

…ん？

私には獣の
息子がいる

狼！
迎え来たの？

…うん

名前は狼ろう

小さい頃は
夫の毛並みのような
銀色をしていた

ありがとう
ほら手
来なさいな

夫は数年前に
亡くなり
ずっと二人暮らし

けれど寂しくないよう
母として愛情を注いだ

それは大人になっても
変わらないと
思っていた

だけど

はあ…

っく

近頃夢を見る

まだ…

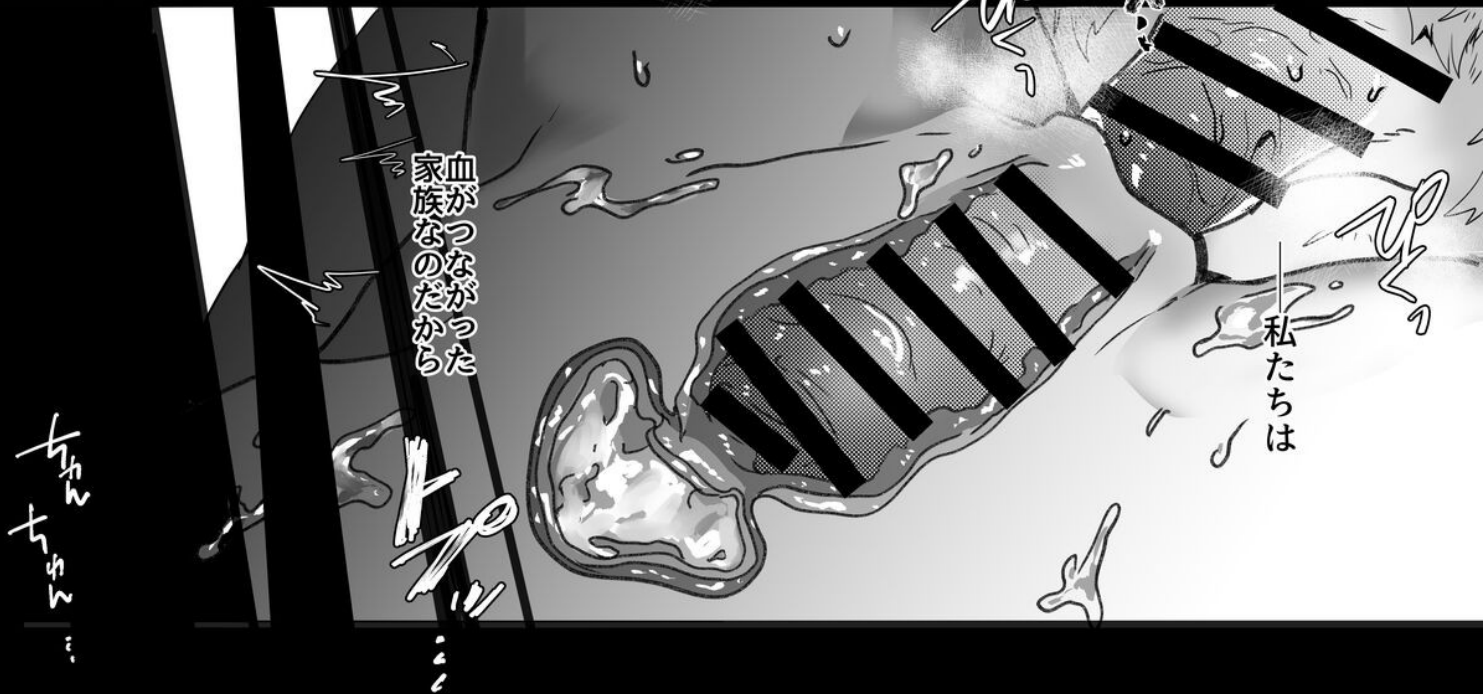
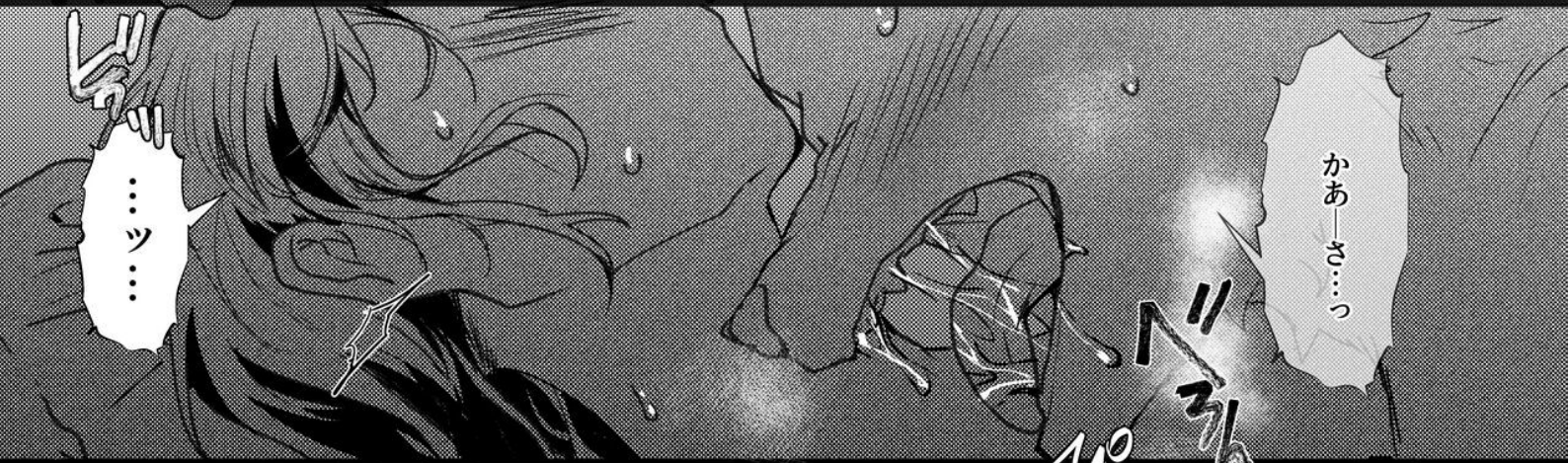
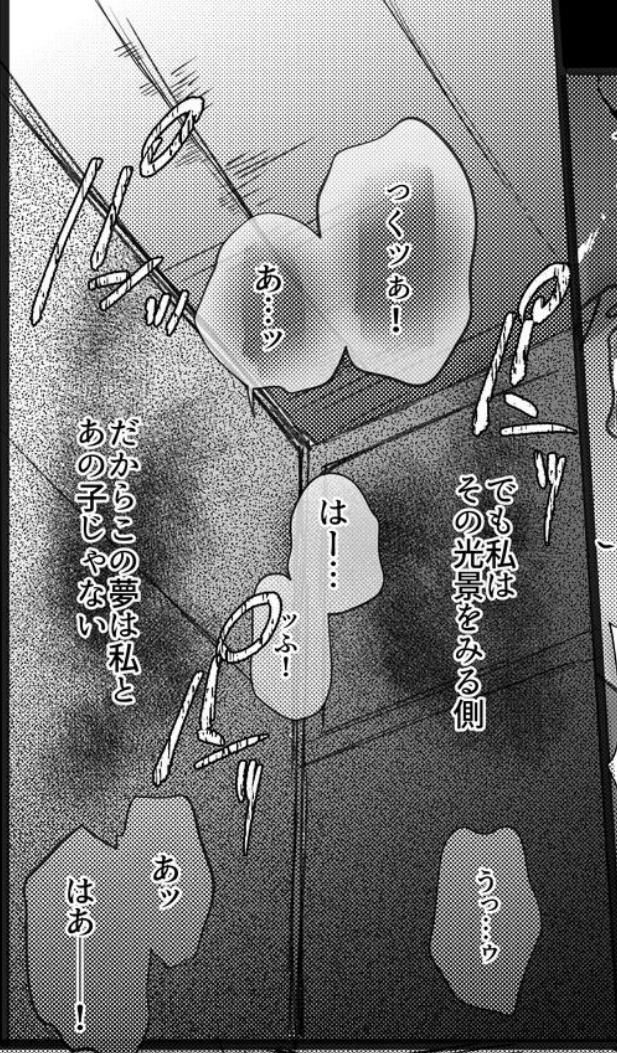
治まらないっ…!

それはひどく生々しく
毎晩だった

女を犯す夢

あの子に似た獣が夜
人間の部屋へ来て

んっく…!





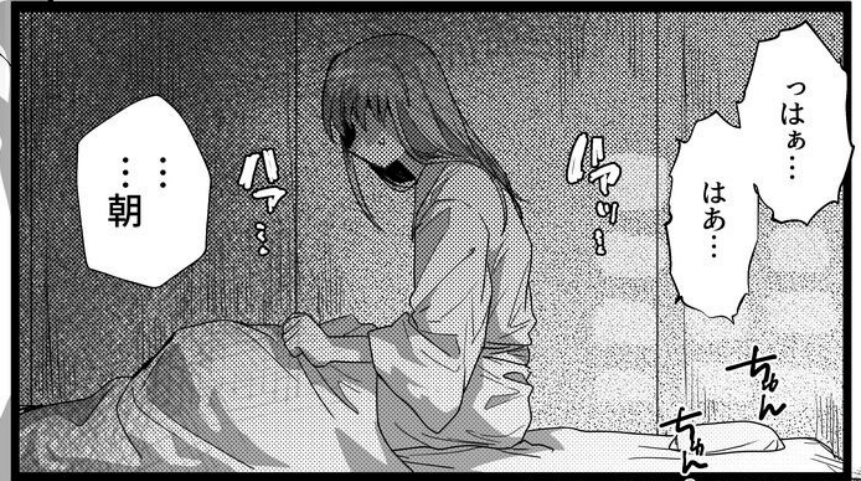
なんて夢みてるのー

あの夢をみてから
わからなくなつて
いった

…私



だけど



…朝

っはあ…

はあ…

ちゅん

ちゅん…



川に…
行ってくるわ

わかつた
気をつけて

…ええ



けれど毛並みは
私の髪色と同じで

…狼^{ろう}

大きくなる狼^{ろう}に夫を
重ねてしまうのは事実でー



そうすれば
ちゃんと普通の
家族に

っもし…

あの夢が
本当だとするなら
私が離れれば—

戻れる…かしら



誰か
いるの—
?

山奥だから
人なんていないと
思ってたのに…

母さん？

あ…よかった
迎えにきたの？

なんだ

でも珍し

ちょっと
心配だったから

…い

なんだか

…わ私
河原に忘れ物…

嫌な予感が

母さん

やつぱり
先に帰ってな



狼!?

やっ
やめなさいー!

あなただけ...!

!?

あつ...!!

が...はッあ...!

うっ...え
むり...ッ

...ッえ



私達親子で…ッ!

ッ…あ!

ま…ッ!

やだッ…

はあッ…!

お願いッ…



嘘…ッ
今なかに注がれてる…ッ!?

…ッ…ッ…あ!

うう…んぐう!?

あ…あ…ッ

…母さん

アッ…

ひッ…!

もっ…もう
やめ…ッ!

小さい

オレここから
出てきたんだ

いや…ッ

っ…うあー!

なんでっ
この子さつきから

弱い所を
的確に…!

ろ…う!
やめなッ…!

あッ…なっあ!

まるで
知ってるみたいに…!

あ…ああ—!

チク…チク…



…なんで
こんな…こつ
急に

隠れて
抜いてたのも

襲いたって
考えてたのも

昔からッ!

…違う

いつ
いつ…!



俺だって同じだ
親父とッ

人間じゃない
のに
なんで…!

そん…なっ
狼は息子で…あ!

なりたくて
なった訳じゃない…!

ッそんなの

ッ…だめ

今ならまだ…!

…母さん
夢みるだろ

…な
なんで

そんなの
決まってる

もう
遅いんだよ

ずっと
オレたちは
夢じゃなくて

あ…っあッノ

交尾してた
んだ…ッ





母さん…!

ッだめ…っ
ろう…!!

んッ!

射精すっ

射精るッ…!

奥にッ全部!

うひへーあッ…!

膣内…に
あの時と同じ
注がれ…て…

…今日も寝ずに
しちやったな

って…
また漏らしてる

しかもこっちも
溢して
多すぎたか

ははッ母さん
俺のにかけて
滑り良くしたいの

まだ足りない
ってことなら

良かった
俺だけじゃない
みたいで

父さんより
たくさんして

たくさんつくろうな

母さん